

ケーブル貫通部防火措置材  
タフロックカタガワ

施 工 要 領 書

 **ネグロス電工株式会社**

技 術 部

**1. 適用範囲**

本書は、ケーブル貫通部防火措置材「タフロックカタガワ」に適用します。(以下、本製品とします。)

**2. 用途**

本製品は、主として耐火仕切板(けい酸カルシウム板)と耐熱シール材(ダンシールP)を使用する、壁貫通部および床貫通部(鋼製スリーブなし)への防火措置を行うものです。

**3. 防耐火性能**

本製品は、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ「防火区画貫通部1時間遮炎性能」の規定に適合するものとして、国土交通大臣の認定を取得しています。

**4. 国土交通大臣認定番号と適用範囲**

本製品の国土交通大臣認定番号と適用範囲を表 1 に示します。

表 1 国土交通大臣認定番号と適用範囲

項目		壁工法		床直置き工法※	
国土交通大臣 認定番号		PS060WL-0090		PS060FL-0080	
適用部位		壁		床	
開口部	形状	矩形		矩形	
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下		0.6m <sup>2</sup> 以下	
貫通する部位の 構造等		構造	壁厚	構造	床厚
		鉄筋コンクリート (中空壁を除く)	100mm 以上	鉄筋コンクリート (中空床を除く)	100mm 以上
ケーブル	占積率	15%以下		15%以下	
	サイズ (導体断面積)	325mm <sup>2</sup> 以下		325mm <sup>2</sup> 以下	
		ただし、325mm <sup>2</sup> の場合は、ダンシール P を厚さ 5mm、長さ 50mm で、追加で巻き付けること。		ただし、325mm <sup>2</sup> の場合は、ダンシール P を厚さ 5mm、長さ 50mm で、追加で巻き付けること。	

※鋼製スリーブが設置された床には、適用できません。

**5. 品番及び標準開口寸法等**

品番及び標準開口寸法等を表 2 に示します。(材料及び梱包の仕様については、別紙「タフロックカタガワ仕様書」を参照してください。)

表 2 品番及び標準開口寸法等

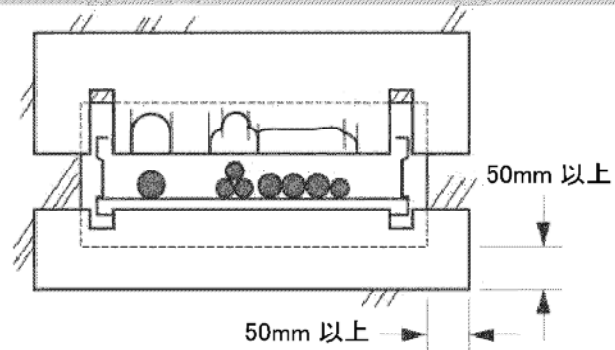
品番	標準 開口寸法 (mm)	標準 ケーブル ラック幅 (mm)	耐火仕切板 (厚さ 40mm)		ダンシール P 質量 (kg)	アンカー ボルト 入数 (本)	ダンシールP 支持棒 (厚さ 40mm、 幅 40mm)		ダンシール P 支持棒 固定用ねじ 入数 (本)	取扱 説明書 入数 (枚)	工法表 示ラベ ル 入数 (枚)
			サイズ (mm)	入数 (枚/ 箱)			長さ (mm)	入数 (本)			
TAFPK3020	300×200	200	400×300	1	2.2	6	300	1	2	1	1
TAFPK4020	400×200	300	500×300	1	3.1	6	400	1	2		
TAFPK5020	500×200	400	600×300	1	3.6	6	500	1	2		
TAFPK6020	600×200	500	700×300	1	4.0	6	600	1	2		
TAFPK7020	700×200	600	800×300	1	4.5	8	300、400	各 1	4		
TAFPK8020	800×200	700	900×300	1	4.8	8	400	2	4		
TAFPK9020	900×200	800	1000×300	1	5.6	8	400、500	各 1	4		
TAFPK10020	1000×200	900	1100×300	1	6.4	10	500	2	4		
TAFPK11020	1100×200	1000	1200×300	1	6.8	10	500、600	各 1	4		
TAFPK12020	1200×200	1000	1300×300	1	7.5	10	500、600	各 1	4		

## 6. 施工手順

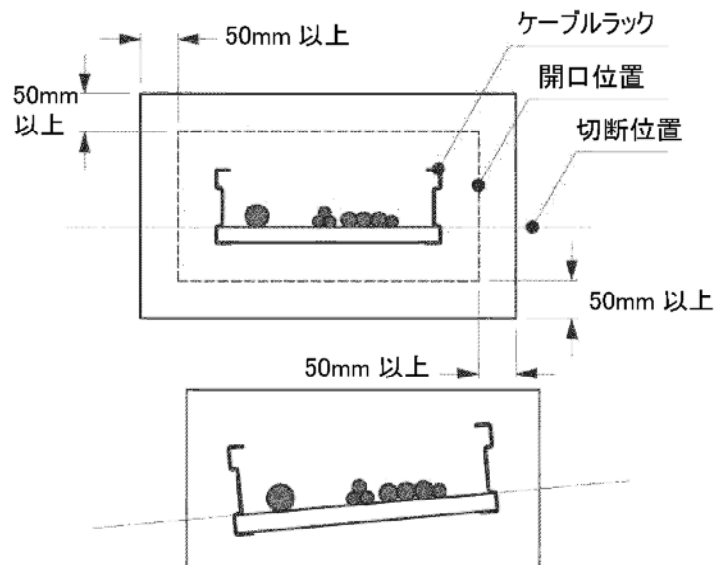
### 6.1 壁工法 (PS060WL-0090)

#### 1. 耐火仕切板の切断加工

開口部、ケーブルラック及びケーブル形状に合わせて耐火仕切板(厚 40mm)を切断加工します。この時、壁面と耐火仕切板のかぶり代は、50mm 以上とします。



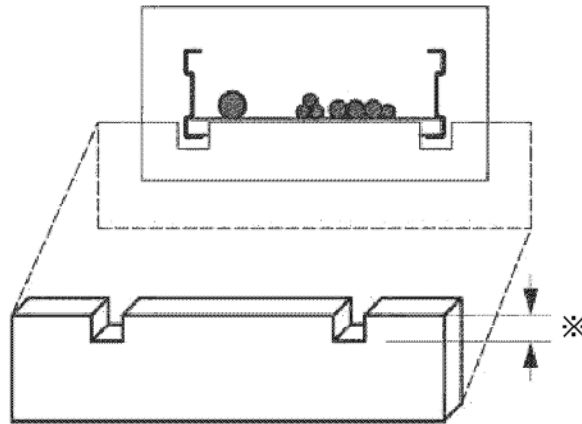
- ① ケーブルラックの子桁上面を基準に耐火仕切板を丸ノコ等で切断します。



※開口とケーブルラックが平行でない場合がありますので、左右確実に採寸してください。

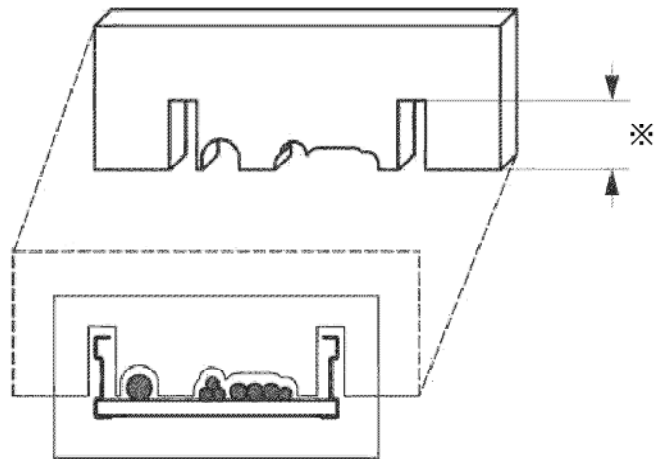
- ② ラック下側に取り付ける耐火仕切板を親桁下部の形状に合わせてけがいてジグソー等で切り込みます。

※ラックの子桁上面からラックの親桁下面の長さ+2~3mm分を切り込みます。

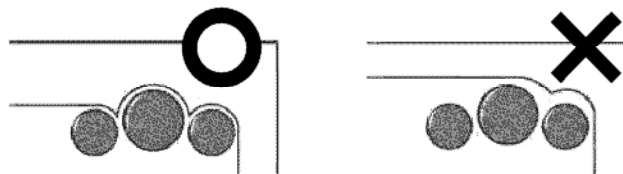


- ③ ラック上側に取り付ける耐火仕切板を親桁上部及びケーブルの外周の形状に合わせてけがいて、ジグソー等で切り込みます。

※ラックの子桁上面からラックの親桁上面の長さ+2~3mm切り込みます。

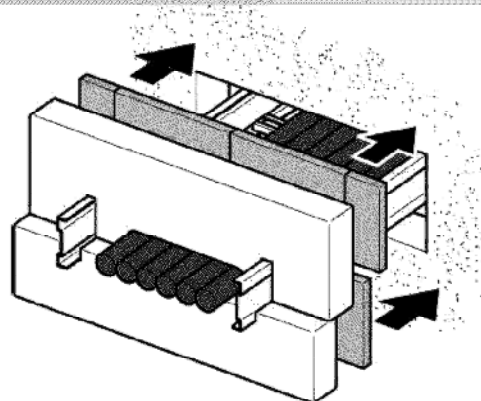


※ケーブルラック及びケーブルの形取りが大きすぎないように切断してください。(2~3mm大きめに切り込みます。)



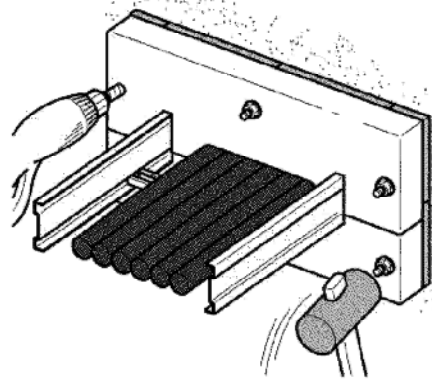
## 2. ダンシールPの貼り付け

耐火仕切板にダンシールPを貼り付けておくと、取り付け作業が楽にできます。



## 3. 耐火仕切板の固定

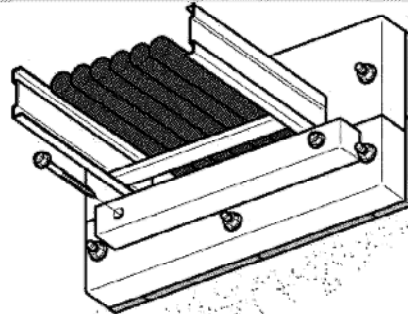
位置決めした後、耐火仕切板にドリルで下穴を明け、その後、壁面に振動ドリルで穴を明け、アンカーボルト(M8×90)で耐火仕切板を固定します。



- ※ドリルのサイズは、φ8.4です。
- ※長辺側アンカーボルトは、300mm以下の間隔で施工してください。
- ※耐火仕切板のつき合わせ部に隙間がある場合は、ダンシール P で埋めてください。

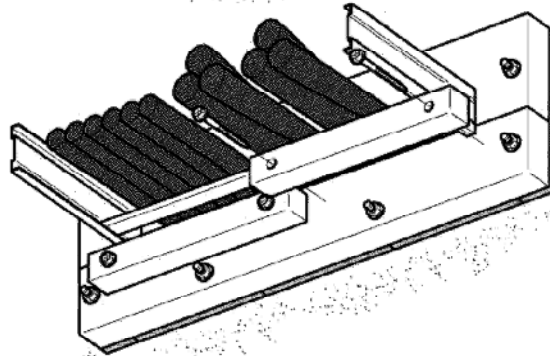
#### 4. ダンシール P 支持棒の取り付け

ダンシール P 支持用として付属の支持棒をケーブルラック下に取り付けます。



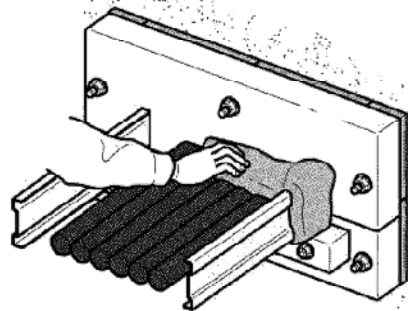
- ※ケーブルのみの貫通の場合は、ケーブルの下に取り付けてください。

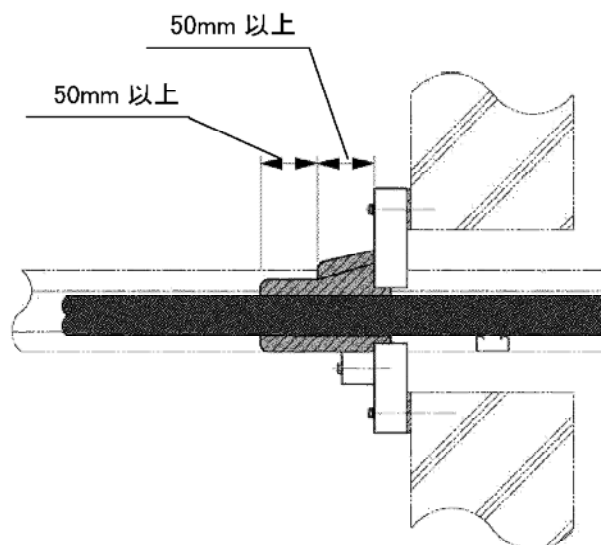
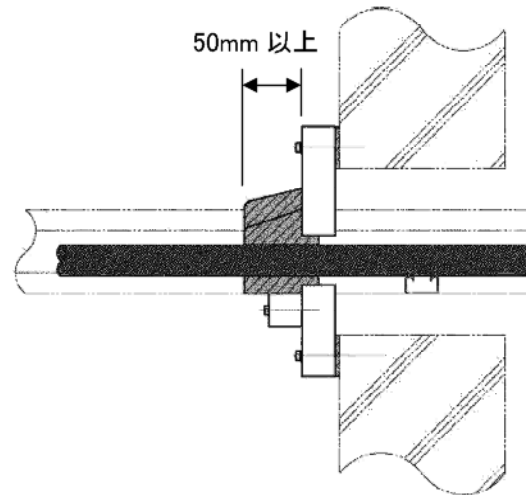
7020 以上のサイズは、支持棒が 2 本になっております。ラックの長さに合わせてご使用ください。



#### 5. ダンシール P の目詰め

ダンシール P をケーブル及びラック親桁と耐火仕切板の隙間に目詰めし、耐火仕切板の表面から 50mm 以上盛り上げ成形します。

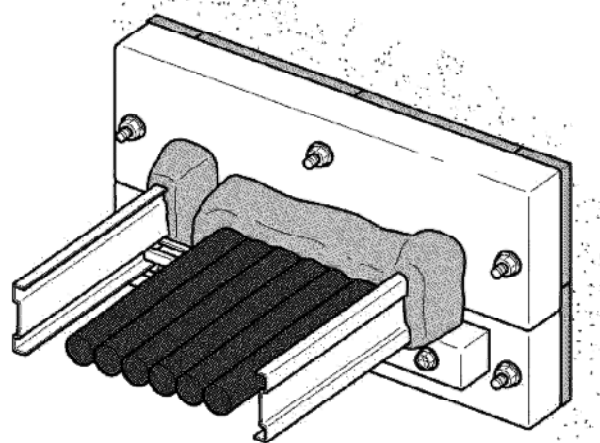




※ケーブルサイズが、 $325\text{mm}^2$  の場合、  
さらにダンシール P (厚さ 5mm) を  
50mm 巻きつけ、合計 100mm 以上  
としてください。

## 6. 施工完了

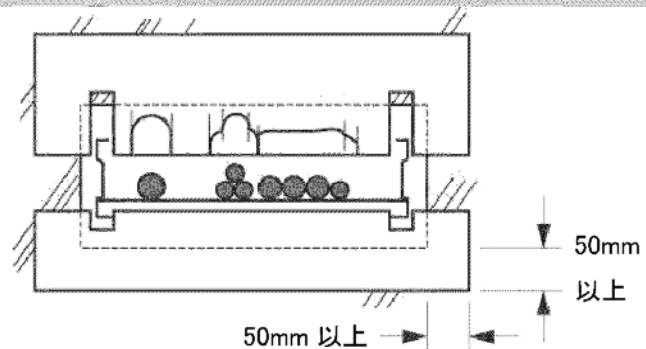
最終仕上がりを確認して施工完了  
です。



## 6.2 床直置き工法(PS060FL-0080)

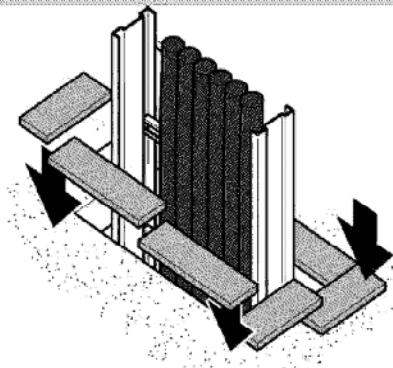
### 1. 耐火仕切板の切断加工

※主な切断加工の手順は、壁工法の耐火仕切板の加工方法を参照してください。



### 2. ダンシール P (シート) の貼り付け

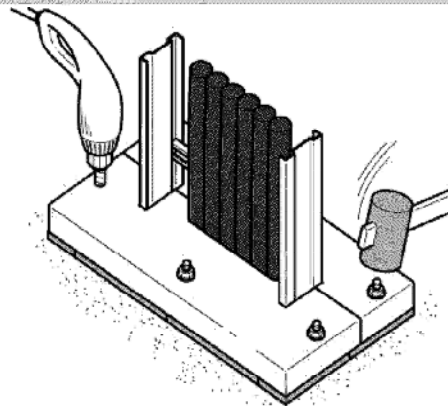
ダンシール P を耐火仕切板の床面のかぶり部分にそって貼り付けます。



### 3. 耐火仕切板の固定

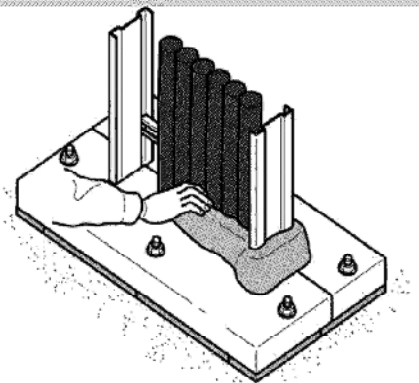
位置決めした後、耐火仕切板にドリルで下穴をあけ、その後、床面に振動ドリルで穴をあけ、アンカーボルト (M8 × 90) で耐火仕切板を固定します。

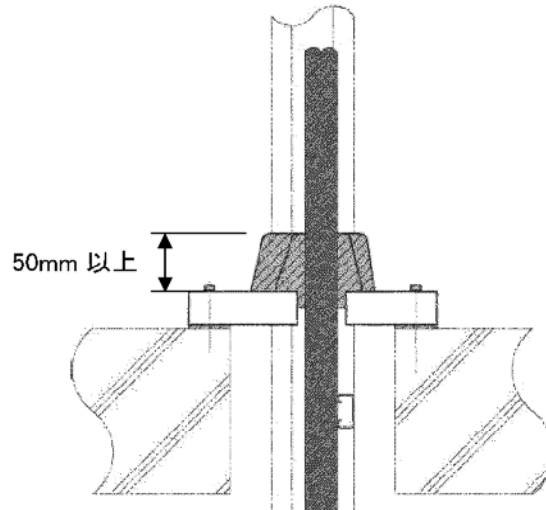
- ※ドリルのサイズは、 $\phi 8.4$  です。
- ※長辺側アンカーボルトは、300mm 以下の間隔で施工してください。
- ※耐火仕切板のつき合わせ部に隙間がある場合は、ダンシール P で埋めてください。



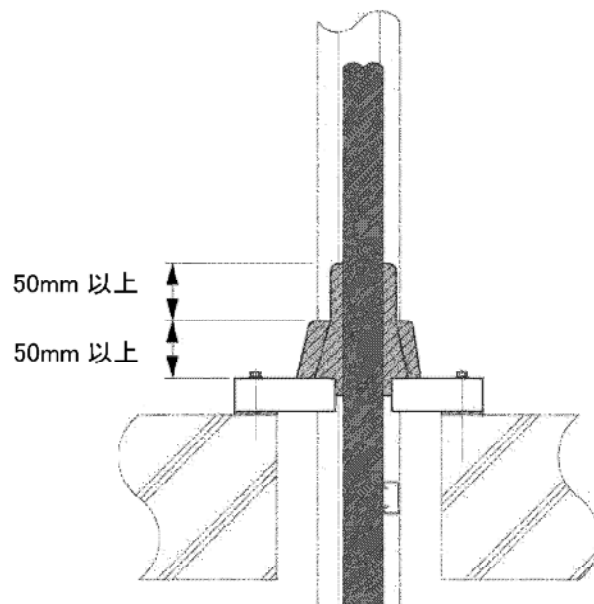
### 4. ダンシール P の目詰め

ダンシール P をケーブル及びラック親桁と耐火仕切板の隙間に目詰めし、耐火仕切板の表面から 50mm 以上盛り上げ成形します。





※ケーブルサイズが、 $325\text{mm}^2$  の場合、  
さらにダンシール P (厚さ 5mm) を  
50mm 巻きつけ、合計 100mm 以上  
としてください。



## 6. 施工完了

最終仕上がりを確認して施工完了  
です。

